

バイト先の
地味

巨乳オバサン
が

意外に

舌カワイくて

困る

作画 原作

嶋羽マテ

カミタニ

Presented by KAMITANI
& SHIMAHANE MATE

1

バイト先の地味

巨乳オバサンが

意外にエロカワイくて

困る

作画 原作

嶋羽マテ
カミタニ

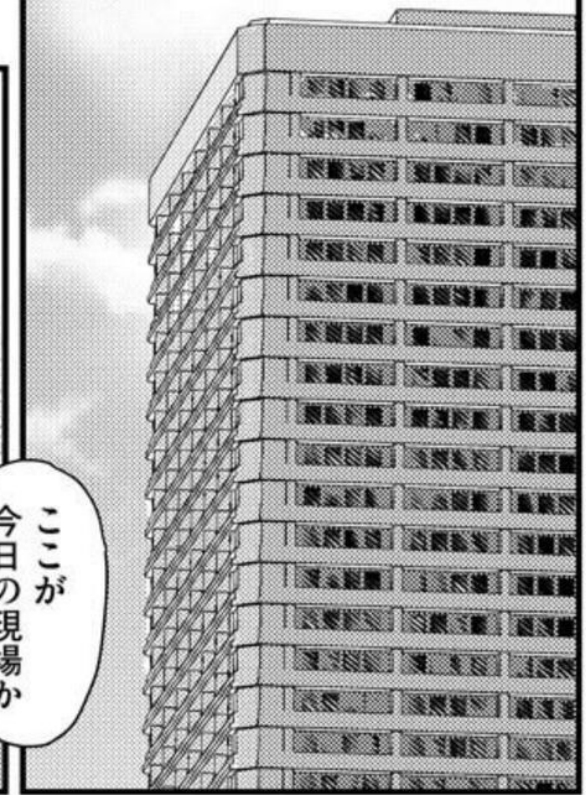
Presented by KAMITANI
& SHIMAHANE MATE

1





ここが
今日の現場か



はい

ああ
今日の掃除の
ヘルプさんね
よろしくお願
い
しますね



オタクの会社の
奥井さんって方が
いるから

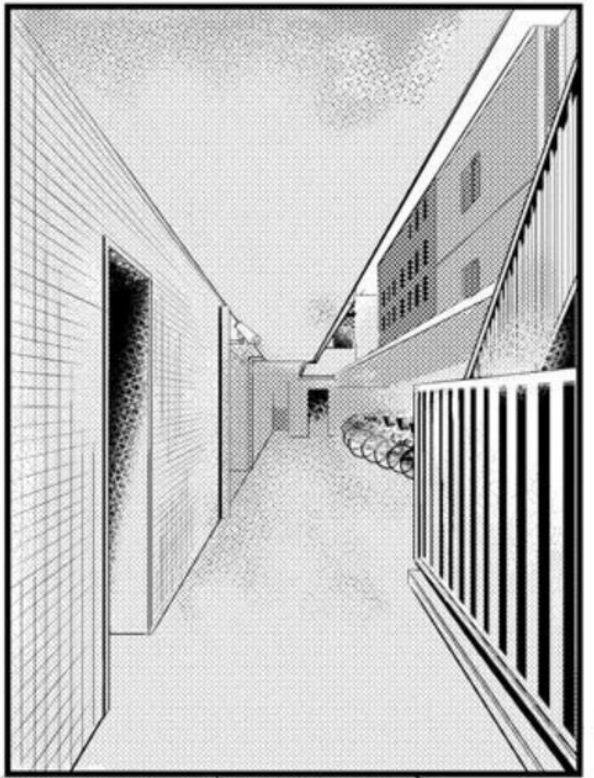
エレベーターホールの
奥の扉を抜けると
階段があるから…そこ
下に降りたところに



はい！
ありがとう
ございます



こんにちは
楽楽人材派遣の
ものです…



あ…はい
よろしくお願いします

いかにも
掃除のオバサンって
感じだな…

奥井です
田仲さんですね
お話はいかがつてます

今日はよろしく
お願いします

さっそくだけど
その作業服に
着替えたら

ゴミ置き場のゴミを
回収場所に移動するのを
手伝ってもらえる？



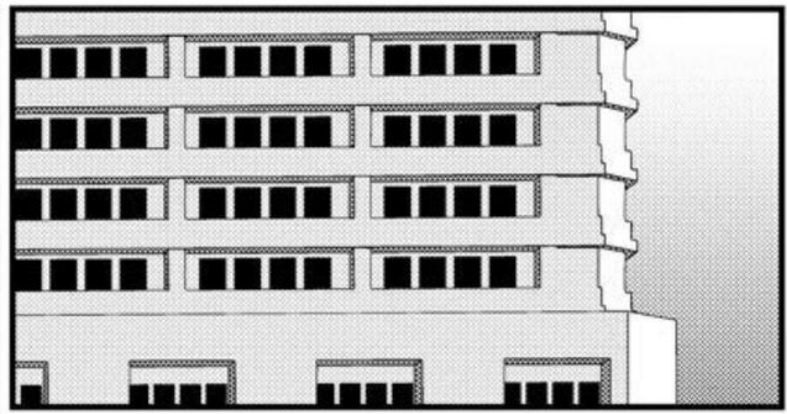
はい

今日は可燃と
資源ゴミの回収があるから
…けっこう大変なの

あ、着替えておめい
ロイヤル

じゃこのカートを押して
向こうの扉から外に出します

けっこう迫力
ありますね…





ちよっと
狭いですね



すいませ〜ん
ありがとうございます
ございます



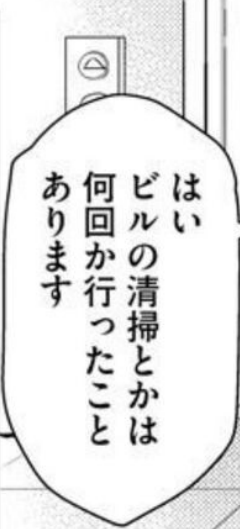
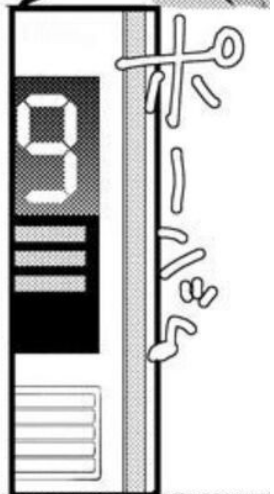
そうね

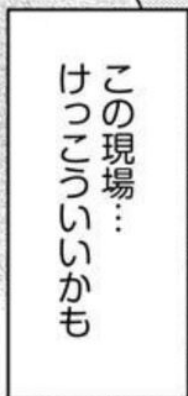


いやいや…
なにこんな
オバサンの乳に
動揺してんだよ
俺…



乳デカっ…





こうして俺はこの
マンション清掃の
ヘルプに週1で
入るようになった

田舎から上京して
親の仕送りで大学生活を
送らせてもらっている
身分だが

バイト収入なしでは
生活がきびしい

清掃作業はだいたい
ひとりでの作業なので
気楽でいいし

上司は
地味だけど
優しくて巨乳な
奥井ミキさん

あわただしくバイトを
掛け持ちして
やり繰りしている
俺にとって

このマンションは
まるでオアシスの
ような場所だった

休憩から
戻りました

カ
キ
ヤ
ッ



ね…寝て
らっしやる…？

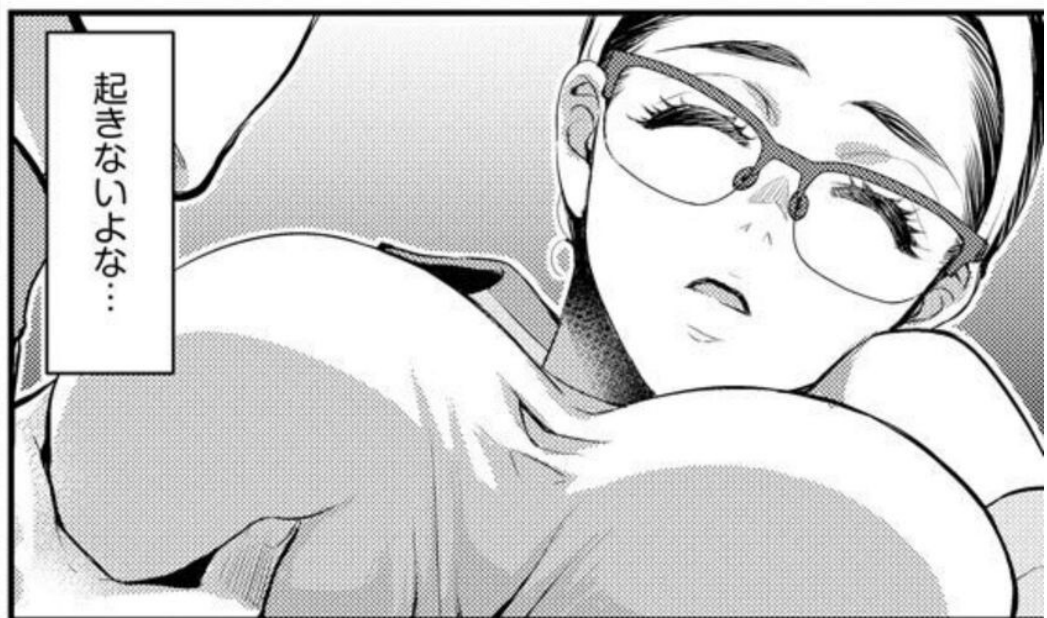


なんかいい匂い

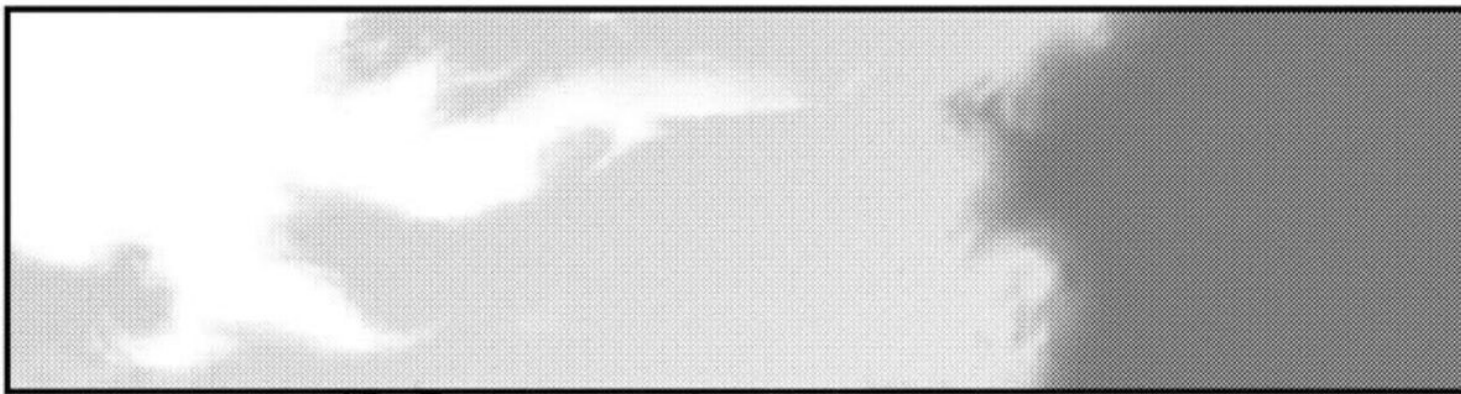


うわ〜！









はあ〜
幸せ〜



そうだから
なかなか外で
お酒飲める
機会がなくてね

今日みたいに
仕事が休みの日の
前日にたま〜に
息抜きにね

ほら娘が
まだ小さいから
目が離せない
でしょ？

娘さん
保育園でした
っけ？



奥井さんが
お酒好きって
なんか意外でした

そう？ まあ
毎日飲みたいって
いうほどじゃ
ないけど









お…
奥井さん…!!

田仲サトシ君

キミ…
いつも私の胸
見てるでしょ



…今日
付き合ってくれた
ご褒美だよ



冗談でも…
ヤバイですよ
…こんな…

めちやくちや
柔らかくて…
いい匂い…



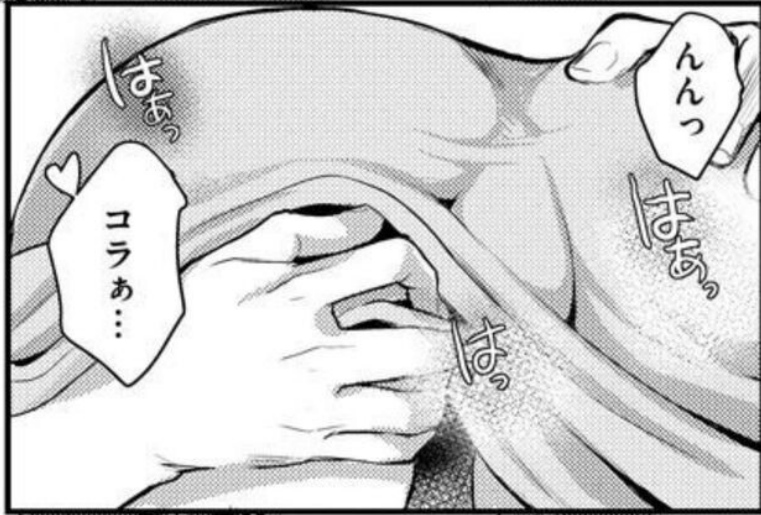
じゃあ
やめる？

いえ…あの
できれば…
もう少し…



こういうコト
してみたかった
んでしょ？

あ…あの…
ちよ…





すいま
せん…

ん…
ああ…

俺…いつも
ミキさんの胸
盗み見して
ました

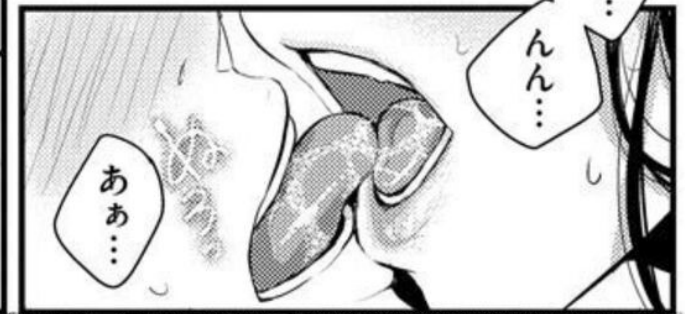


ミキさん…

俺…
もっとご褒美
ほしいです…



ん…



ん…
んん…

ああ…



はあ

柔らかい…



んあっ



もっと…
見たいです

ダメ…

すごい…
キレイです…

ああ…









ああ…
それダメえ…

おち○ちんで
突かれながら
乳首いじられると
イッチャウの…



あああ

ああ

ああ…
すごい…
サトシ君…

ミキさんの中
熱くて…すごい
気持ちいい…



ダメえ
気持ち
よすぎるう！

俺ももう
イキそう
ですつ…



ふふ…
いっばい
出たね

最高に
気持ちよかつ
たです…



ああ

ダメダメ
イクイクっ！

ムムムム！！

いっっちゃう
ううう！！



ああ

精子の匂い…
すごい…
いやらしい…



はあ…





お帰り

ママお帰り
なさい！

今日は
早かったね



ふふ…
毎回そんなにいっぱい
お酒飲んでくるわけじゃ
ありませんよ



晩ごはん
何食べたの？

パパが
カレー
作ったよ



ただいまー



いいなー
パパのカレー
おいしいもんね

ママの分も
あるよ

やった！
ママもお土産に
ケーキ買って
きたよ

やったー！

発行所 株式会社楽楽出版

〒102-0082

東京都千代田区一番町29-6

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。